

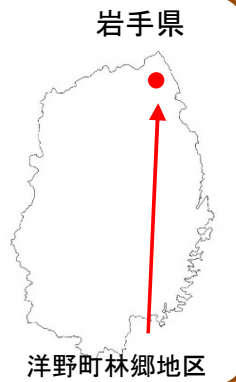
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 畜産業と水稻生産が多く見られる中間農業地域。
- 担い手の高齢化や後継者不足が懸念され、意欲ある担い手に対する農地集積の推進が課題。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営面積の拡大と離農等による農地の引受けに対応すべく、水稻の生産性向上や作業の効率化に向けた取組に係る支援が必要。
- 助成対象者は、当地区で大規模に水稻生産を行う担い手であり、今後も経営面積を拡大していく見込みである。このため、農地集積と高性能機械の導入による作業の効率化を図り、経営規模拡大の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「権谷弘幸」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和56年 就農
- 平成27年 経営改善計画の認定
- 令和2年 経営改善計画の再認定

《事業活用の背景》

- 地域において進められた農地整備事業を契機として、農地集積が進展。
- 経営面積の拡大に必要な高性能機械を導入することにより、水稻の適期収穫による高品質米の安定的な生産を確保しつつ、水稻作付面積の拡大を図る。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 売上高 16百万円
- 水稻面積 20.5 ha
- 水稻単収 566kg/10a

《事業による整備内容》

- コンバイン 6条刈 1台
- 事業費 11,000千円
- (国費 3,000千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 20百万円 (125%)
- 水稻面積 25.4ha (124%)
- 水稻単収 635kg/10a (112%)

事業の
効果

《対象者》 高性能機械の導入により、作業受託を含めた経営面積の拡大と高品質米の安定的な生産が実現し、売上高が増大。

《地区》 農地集積と作業受託による、地区内の継続的な農業生産と作業の効率化を実現し、経営規模拡大の取組モデルが確立。